

第8回戦術委員会確認事項

2021年4月19日
全日本金属産業労働組合協議会
(金属労協/JCM)

金属労協は、本日10時より第8回戦術委員会を開催し、回答状況の把握を行うとともに、JC共闘の今後の進め方を確認した。

1. 本日段階において、回答引き出しの進捗状況は、おおむね例年どおりとなっている。
コロナ禍や産業の大変革に伴う先行き不透明感が強い中においても、賃上げによる「人への投資」の必要性について経営側に求めてきた成果が上がっている。なかでも、規模の小さい組合ほど賃上げ額が大きくなっており、中堅・中小労組が1,000人以上の組合の賃上げ額の平均を上回る傾向が定着している。
2. 今後回答を引き出す中堅・中小労組が、JC共闘においてこれまで引き出してきた成果を踏まえ、確実に賃上げ（賃金改善）を獲得し、底上げ・格差是正を実現するよう、JC共闘全体で支えていく。
また、働き方の見直しや、非正規雇用で働く労働者の賃金・労働諸条件の改善に関する協議を重ねていく。
さらに、2021年度の特定最低賃金の引き上げ・新設に向けて、企業内最低賃金協定の締結拡大・水準引き上げを着実に実現し、金属産業全体の賃金の底上げ・格差是正に結び付けていく。
金属労協は、引き続き共闘体制を維持し、各組合は、産別指導の下、賃金の底上げ・格差是正に向けて、精力的に交渉を展開し、速やかに決着を図ることとする。
3. 第9回戦術委員会は、5月19日に開催する。

以上